

1. エムウェーブ南産業用地開発について

(1) これまでの経緯

- 令和4年2月 ○地権者意向調査（事業者募集など次の段階へ進めることについて）
意向調査の結果、条件付きを含め約9割近い地権者の同意が得られた。
- 4月 ○立地開発提案募集
- 5月 ○立地開発事業者グループを選定
- 7月～○事業者グループによる地権者への個別訪問を開始
事業への協力、土地の売渡承諾を依頼
- 12月 ○地域未来投資促進法の長野地域基本計画の変更同意

(2) 今後の予定（令和5年度以降）

- 令和5年度 農振除外、農地転用、開発許可申請、地区計画策定
- 令和6年度 造成工事
- 令和7年度 造成工事、立地事業者への土地所有権移転、建設工事開始
- 令和8年度 建設工事
- 令和9年度 操業開始（計画認定後5年以内の付加価値額の創出が必要）

位置図及び概要 【長野市大豆島地区エムウェーブ南産業用地】



2. 篠ノ井駅西口用地の活用について

(1) これまでの経緯

- 平成6～8年 国鉄清算事業団から購入（土地開発公社による先行取得）
- 平成9年～ 篠ノ井駅西口東西自由連絡通路及び西口駅前ロータリーの整備
駐輪場、送迎用駐車場、遊園地の仮設整備
- 平成28年 篠ノ井住民自治協議会、商工会議所篠ノ井支部、篠ノ井地区区長会から市長要望
「駅西口へ南部図書館移転について」
- 平成29年 公共施設配置について考える市民ワークショップ開催
- 平成30年 篠ノ井地区三団体交流会から「南部図書館改築・整備」について市長要望
- 平成31年 図書館建設等サウンディング型市場調査を実施（17団体参加）
- 令和元年 未利用地活用及び南部図書館移転を含めた複合施設整備検討 ※方針決定には至らず
- 令和3年 商工会議所篠ノ井支部から市長要望（4月）
「篠ノ井駅西口低未利用地への企業誘致のための土地提供要望」
篠ノ井地区三団体交流会から市長要望（6月）
「南部図書館を核とした篠ノ井駅西口低未利用地の活用について提案(要望)」
- 令和4年 炭ガラ埋設量（北側エリア）の詳細調査実施（9月～11月）
送迎用駐車場の利用実態調査実施（11月～12月）

(2) 今後の土地利用方針

ロータリー北側

■R5年度より民間売却に向け始動

- ▶商工労働課「産業団地事業会計」を活用し
産業用地として**民間売却**
- ▶民間売却範囲により駐輪場・送迎用駐車場
を南側に移設することを検討

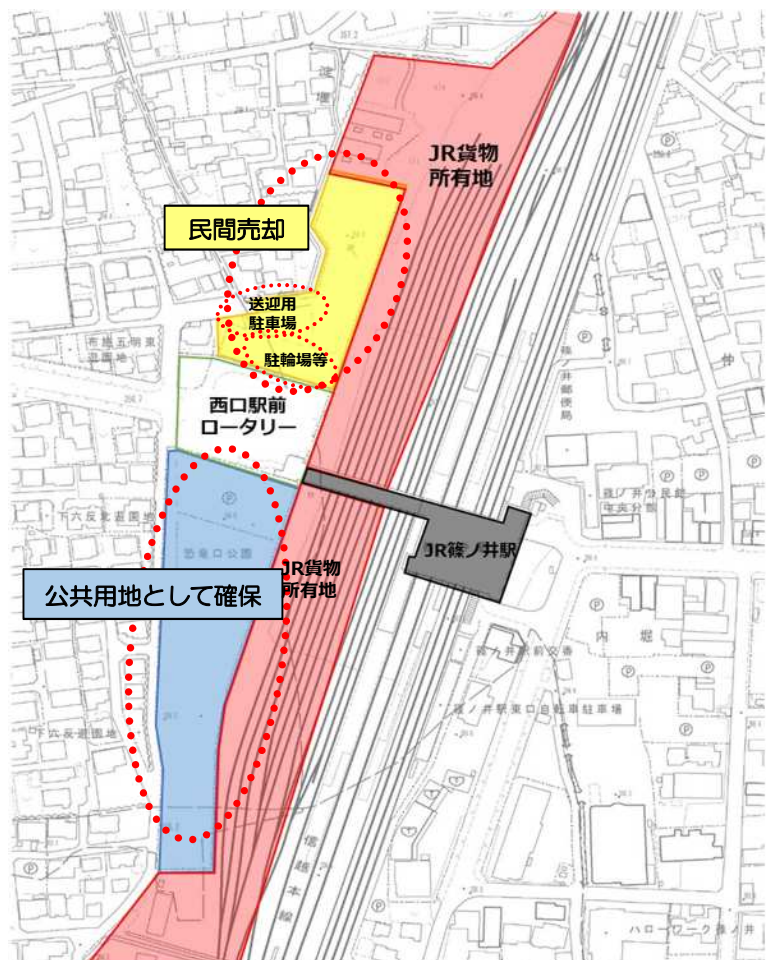
ロータリー南側

■将来的な土地利用構想案の検討

- ▶官民複合施設、駐車場、公園 など
※関係課と立地計画について検討継続

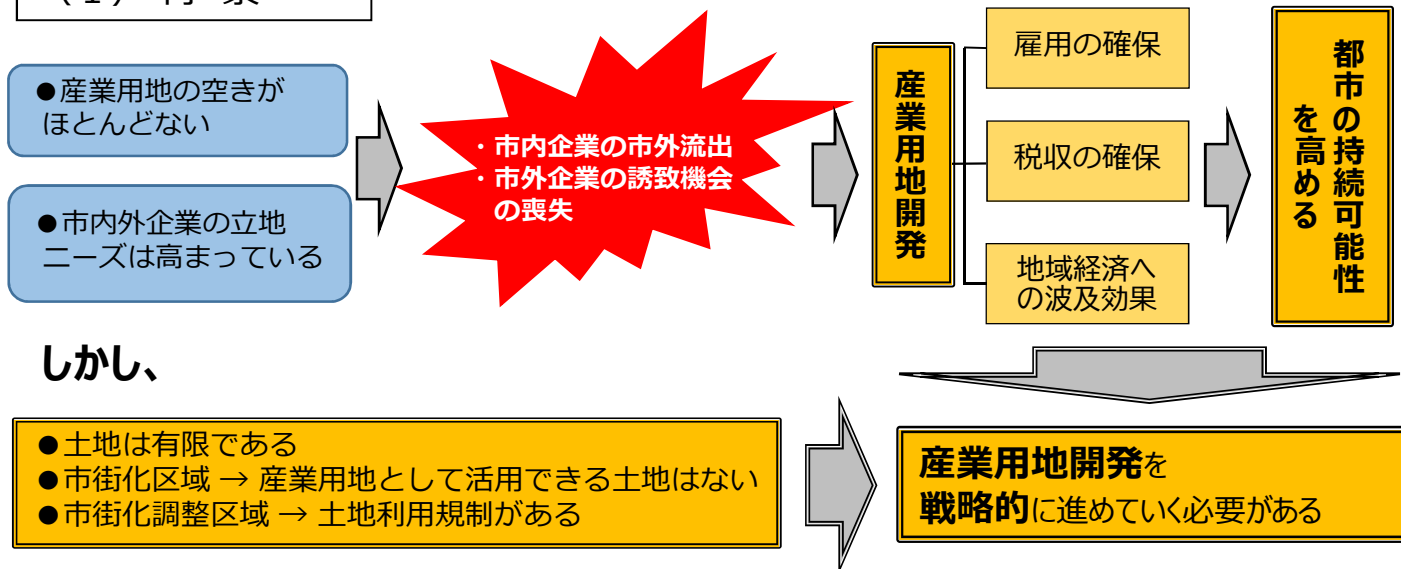


公共用地として引続き確保



3. 「（仮称）長野市産業立地ビジョン」の策定について

（１）背景



（２）目的

- 「（仮称）長野市産業立地ビジョン」は、次のことを目的に策定する。
 - ①本市の産業構造や立地ニーズ、産業用地開発の可能性がある土地などを整理すること
 - ②本市の産業振興に寄与する産業立地のあり方を分析すること
 - ③効果的な産業用地開発に関する方向性を明らかにすること
- ビジョンを産業用地開発の関係者（地権者や民間事業者等）と共有し、どこで・誰が・どんな手法で・どんな産業集積を図るかについて、具体的に計画に落とし込む。

（３）主な内容（案）

- 現状分析（内部環境及び外部環境）
- 立地ニーズの状況
- 産業集積の展望
- 産業用地開発の方針
- 候補地カルテ
- 開発手法の整理 など

（４）作業工程（案）

	R5年度												R6年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
作業工程内容等	調査・分析														
	・本市(全国)の現状や動向把握 ・開発の意義や必要性 ・産業集積 ・候補地の選出 ・開発手法 ・先進地の事例												ビジョン策定 ・候補地や産業集積の検討 ・産業用地開発の方針検討		
					(中間報告) 審議会	候補地検討状況等						(ビジョン案) 審議会			ビジョン決定